

地域、保護者のみなさんに支えられて
～栄川中学校区学園化の取り組みの一つとして～

本年度は掛川市内一斉に「中学校区学園化」が始まっています。「子ども育成支援協議会」を組織の中心として、家庭・地域・学校が一体となって子どもたちを育成していく活動であります。栄川中学校区がこれまで進めてきた青少年健全育成の活動による保護者の皆様や地域の方々との深いつながりや、幼小中一貫教育の研修で培ってきた教職員の縦と横のつながりを生かして、様々な力を活用して「子どもたち」を育成しようとしています。

「子ども育成支援協議会」には、地域コーディネーターがいて、学校と地域の橋渡しを的確にして下さっています。本年度の地域コーディネーターは、以前日坂小学校の教頭先生をされていた宮村の田中由紀江先生が担当してくれています。現在1年生の総合的な学習の時間で「防災学習」を行っていますが、先日は本所の岡本春一先生に掛川市付近で発生した地震の様子や被害などについて詳しく教えて頂きました。また、先生には3年生の「地域の偉人」に関する学習においても、山崎千三郎さんや鈴木理一郎さんについて紹介して頂きました。山崎千三郎さんは、明治初期掛川の鉄道、交通路、大井川疎水の開発など掛川の行政、産業に尽力された方です。また、鈴木理一郎さんは掛川市初代市長となられ、掛川市の礎を築かれた方です。このように、栄川中学校区には掛川市の発展に大きく貢献した方々がいると知って大変驚きました。

5月に東山地区は茶草場農法で世界農業遺産に認定されましたが、10月24日(木)には、その認定に関わられた杉浦敏治さんや太田峰夫さんを講師にお招きして、生き方講話を開催する予定です。お時間がありましたら、ぜひ参加して頂きたいと思います。

このように地域のたくさんの方々を支えて頂いて、栄川中学校区の教育活動が成り立っています。今後ともよろしくお願ひします。

10月11日(金) いよいよ栄中祭!

各学級から爽やかな歌声の音が聞こえてきています。朝も昼もそして帰りの会でも歌声が聞こえ、学校全体が合唱ムード一色になってきました。「合唱とは日に日に口が合う」と言いますが、次第に学級みんなの音が合い始めています。10月11日(金)はいよいよ本番です。今年も「ハハモニー」の方々や保護者のみなさん、そして職員で栄中祭に参加させていただきます。ぜひ、当日は生涯学習センターへお越し下さい。

心のスイッチの入れ方

心のスイッチ

東井義雄

人間の目は ふしぎな目
見ようという心がなかったら 見ているも見えない

人間の耳は ふしぎな耳
聞こうという心がなかったら
聞いていても 聞こえない

頭もそうだ
はじめからよい頭 わるい頭の
区別があるのではないようだ
「よし、やるぞ!」と
心のスイッチが入ると
頭も
すばらしいはたらきを しはじめる

心のスイッチが 人間を
つまらなくもし すばらしくもしていく
電灯のスイッチが
家の中を明るくもし 暗くもするように



9月9日(月)の朝礼での話

……前半略……

どうでしょう。読んでみて、どんな感想を持ったでしょう。3年生の中には、前回のテストで、それよりも前の点よりかなり上がった人がいました。きっと、学習に向けて「心のスイッチ」が入った人ではないかと思えます。よく頑張りました。

「心のスイッチ」を入れるのは誰か、他の人が助けてくれることもあるかもしれませんが、やっぱり自分自身です。どうやったらスイッチを入れることができるのか。これが問題です。考えてみました。スイッチの入れ方はまず
①自分なりのはっきりとした目標を持つこと
②そのためまず小さな1歩を踏み出すこと
ではないかと思えます。みんな心のスイッチを持っています。スイッチさえ入れば、きっとその人なりの頑張りができるはずです。

今日から、今から心のスイッチを入れてみましょう。お話を終わります。